

学校教育目標	やりぬく平井の子 やりぬく体	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・わかった、できた、学ぶ楽しさがある学校 反復いっぱい、今日も行きたい学校 地域を大切にし地域に愛される学校 ・よく聞き深く考え表現できる子ども 違いを認め合い思いやりあふれる子ども 勇気をもって一歩を踏み出せる子ども ・子どもの可能性と意欲を引き出す教師 人間味あふれる教師 プロ意識をもち、自ら学び自ら高める教師
前年度までの本校の現状	成果 子どもたちが自ら課題を見出し、解決の課程で仲間と共に試行錯誤しながら自己の学習を調整する態度の育成を図っている。全教科・領域で粘り強く取り組む学びの実現を目指している。	課題 自他のおよさを認め、協働して学びに向かう学習集団を目指してきたことによって、学び合う姿勢が身に付いてきた。次の学びにつなげていこうと自己調整を行えるように振り返りの場を大切に指導していく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己(学校)評価(A~D)	「中間」 学校関係者評価(A~D)	「年度末」 自己(学校)評価(A~D)	「年度末」 学校関係者評価(A~D)	次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○基礎・基本の定着	・学力向上アクションプランの活用 ・家庭学習習慣の確立 ・放課後学習の実施 ・よみYOMUワークシート	●ページドリルで正答率50%以下を2割 ●学力テスト⇒都・区平均以上	B	B	B	B	B	B	・復習時間を計画的に確保して、学力を定着させる。
	○学習場面の設定	・課題解決学習の推進 ・ALTとの連携 ・一人一台端末による指導 ・ミライソードの活用	●研究授業年7回 ●意識調査⇒肯定的回答80%	B	B	B	B	B	B	・ヘアや註語指導を通して、広げる力の継続的な向上を目指す。
	○読書科の更なる充実	・読書の学習の充実 ・読み語り ・読書科ノート ・読書科研修	●読書科の授業公開 ●読書科の授業公開 ⇒肯定的回答80%	B	B	B	B	B	B	・読書や調べ学習を取り入れた取り組みが見られました。授業内の活用場面の効果的な活用を進める。
体力向上	○体力向上	・体力テスト ・外遊び ・なわとびチャレンジ週間 ・ゆうゆうタイム	●体力テスト⇒都の平均以上 ●意識調査⇒肯定的回答90% ●なわとびワーク⇒年3回実施 ●ゆうゆうタイム⇒年20回実施	B	B	B	B	B	B	・課題を受け止めて、改善に向けて考えられている点を評価します。次の年度の取り組みに注目をしています。
	○思いやりの心	・道徳教育 ・1人1つ行動 ・異学年交流活動 ・校内外のボランティア活動 ・平井ミナマルとの交流活動	●100周年に向けて、道徳教育を推進 ●「平井ミナマル」との交流活動 ●ポッチャ体験	B	A	B	B	A	A	・年間計画に位置付け、継続的に交流活動を推進する。
共生社会の 実現に向けた 教育の推進	○特別支援教育の充実	・学習環境のユニバーサルデザイン ・個に応じた指導 ・エンカレッジルームの活用 ・SSW、SGとの連携	●特別支援に関する意識調査⇒肯定的回答90%	B	B	B	B	B	B	・関係機関と連携しながら、一人一人の寄り添った対応、ありがとうございます。
	○自己肯定感の醸成	・人権教育の推進 ・キャリア教育の充実 ・体験活動の工夫	●生活に関する意識調査⇒肯定的回答80% ●笑顔と学びのプロジェクト	B	B	B	B	B	B	・体験活動を通して、子供たちの成長が感じられます。前向きな雰囲気が増えていくことを願っています。
不登校・いじめ対応の充実	○生活習慣の確立	・フック始末 ・平井っ子家庭ルール週間の徹底 ・SNSルールの定着 ・挨拶、返事、名札の徹底	●安全に関する意識調査⇒肯定的回答80% ●生活指導たより ●平井っ子家庭ルールの定着につなげる	C	C	C	C	C	C	・具体的な事例を用いた指導を充実させ、今後家庭と連携しながら定着を図る。
	○いじめのない学校	・道徳教育の充実 ・SNS指導 ・迅速で適切な組織的対応	●いじめアンケート⇒年3回実施 ●L-Gateを積極的に活用する	B	B	B	B	B	B	・研修内容を生かした取り組みにより、よい変化が見られた点が心強く感じられます。
	○体罰ゼロの学校	・人権教育 ・人間関係づくり ・服務事故防止研修	●事前アンケート年1回 ●服務事故防止研修は、事例をもとに、事故の未然防止への対策を強化している	B	B	B	B	B	B	・人権の取り組み、ありがとうございます。安心して過ごせる学校づくりをよろしくお願いいたします。
	○不登校を出さない学校	・児童の発着把握シート	●不登校・不登校傾向の児童⇒全体の1%	B	B	B	B	B	B	・早期発見と個別支援の充実を図り、登校しやすい環境づくりを進める。
	○豊かな言葉が広がる学校	・あいさつ週間 ・正しい言葉遣い ・エンカレッジを取り入れた学習	●生活に関する意識調査⇒肯定的回答80%	B	B	B	B	B	B	・PTAや地域と連携し、安心して挨拶できる環境づくりに努めていると感じます。
	○小中が連携した子供の成長の促進	・1年間の見直し指導 ・授業参観1回 ・部活動体験1回 ・進学先との情報交換	●1年中進捗⇒年3回実施	C	B	B	B	C	C	・連携の目的を明確化し、事前共有と振り返りを通して内容の質を高める。
地域社会に 開かれた 学校の 実現	○保護者・地域との連携強化	・PTA活動、地域行事への参加 ・HPの充実 ・地域人材の積極的活用 ・体験活動の充実	●保護者アンケート⇒回収率70%以上 ●PTA平井まつり⇒参加率60%以上 ●HP⇒毎月1回更新	B	B	B	B	B	B	・地域行事への参加やアンケートの回収率が高く、学校と家庭のつながりが感じられます。
	○保護者への誠実な対応	・保護者会、個人面談 ・ビデオメール対応 ・傾聴の姿勢と適切なアドバイス ・相手サイドに立った見方	●保護者会⇒年2回 ●個人面談⇒年2回 ●相手サイドに立った見方	B	B	B	B	B	B	・面談や電話相談など丁寧な対応から、家庭との連携の深まりが感じられます。
	○サービスの厳正	・教育公務員としての自覚 ・服務事故 ・職務に厳しく人に優しく ・日常的な情報共有	●服務事故防止研修の実施 ●服務事故0の継続	B	B	B	B	B	B	・継続的な研修により、教職員の意識向上が図られていることに安心感があります。
特色ある 教育の 展開	○心身の健康と豊かな人間性	・定時運動会の設定 ・働き方改革 ・人材の効率的な活用 ・SSC、SSの積極的活用	●時間外勤務45時間超の教職員15%未満 ●人材の効率的な活用を図り、事務作業毎日1人10分の軽減	B	B	B	B	B	B	・業務改善の取り組みにより、働きやすい環境づくりに進められていると感じます。
	○職能を活かしたOJT	・日常的な支援と指導	●各教員の専門性を生かした研修⇒年間10回実施	A	A	A	A	A	A	・OJTの内容を再検討し、専門性向上に努めている様子が伝わります。
	○心身の健康と豊かな人間性	・定時運動会の設定 ・働き方改革 ・人材の効率的な活用 ・SSC、SSの積極的活用	●時間外勤務45時間超の教職員15%未満 ●人材の効率的な活用を図り、事務作業毎日1人10分の軽減	B	B	B	B	B	B	・業務改善の取り組みにより、働きやすい環境づくりに進められていると感じます。